

No. 544  
2016年  
11月

# OR学会だより

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F  
電話 (03)3851-6100 Fax (03)3851-6055  
http://www.orsj.or.jp/

## 2017～2018年度役員選挙日程

OR学会における2017～2018年度役員（理事、監事）選挙は、2017年2月に名誉会員、正会員による郵送投票の予定です。ただし、改選数と候補者数が同数の場合、無投票になることがあります。

## ● 2017～2018年度 役員候補者ご推薦のお願い

役員規程に従って2017～2018年度の役員を選出を行います。つきましては、候補者のご推薦をお願いいたします。

- ・推薦者は、名誉会員または正会員5名以上とし、ご本人の同意を得たうえでご推薦ください。
- ・会務の分担ごとの選挙のため、下記推薦届の□に✓を入れてください。
- ・推薦届締切：2016年12月15日
- ・推薦届送り先：OR学会事務局 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F  
TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055  
E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
役員選挙管理委員会

..... 切 り 取 り 線 .....

2016年 月 日

## 役員候補者推薦届

公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会選挙管理委員会殿

2017～2018年度日本オペレーションズ・リサーチ学会の役員

- |                                    |                               |                                      |                                     |
|------------------------------------|-------------------------------|--------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 副会長（2名）   | <input type="checkbox"/> 庶務理事 | <input type="checkbox"/> 国際理事        | <input type="checkbox"/> 研究普及理事（研究） |
| <input type="checkbox"/> 編集理事（機関誌） | <input type="checkbox"/> 支部理事 | <input type="checkbox"/> 無任所理事（支部所属） | <input type="checkbox"/> 監事         |

..... 氏を推薦いたします。

推薦代表者： \_\_\_\_\_ ⑩（所属： \_\_\_\_\_）

\_\_\_\_\_ ⑩ \_\_\_\_\_ ⑩

\_\_\_\_\_ ⑩ \_\_\_\_\_ ⑩

候補者略歴（100字程度）

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

上記の推薦に同意します。候補者 \_\_\_\_\_ ⑩（所属： \_\_\_\_\_）

## ● 日本OR学会各賞の候補ご推薦のお願い

本学会では、研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞、業績賞、実施賞、普及賞、論文賞、学生論文賞を設定し、それぞれの分野で顕著な成果・業績を挙げられた個人や企業を毎年表彰しております。つきましては、今年度も受賞候補者の積極的なご推薦を募ります。

### 推薦締切日

1. 業績賞、普及賞、実施賞：2016年11月30日
2. 研究賞、研究賞奨励賞、事例研究賞：2017年1月31日
3. 学生論文賞：2017年3月31日

推薦状は、学会HP <http://www.orsj.or.jp/whatisor/award7.html>からダウンロードしてご利用ください。

過去の受賞者一覧は学会HPに掲載しています。

### 〔研究賞〕

昭和43年（1968年）に創設された大西記念文献賞、およびそれを継承した文献賞を受け継ぎ、2011年度から設けられた本学会で最も歴史のある賞です。次の条件を満たす個人に贈られます。

1. 本学会員であること。
2. 独創性と将来性に富み、ORの発展に寄与する研究業績を挙げていること。

授賞対象とする研究業績は過去5年以内のものとし、毎年1名程度を表彰する予定です。（副賞50万円／1名）

### 〔研究賞奨励賞〕

若手研究者個人を対象とする賞です。上の研究賞の条件に加えて被推薦者の年齢に関して次の条件があります。被推薦者は、原則として応募締め切り時に満35歳以下であること。ただし、OR研究歴が短い方は、この年齢制限を超えていても構いません。授賞対象とする研究業績は過去3年以内のものとし、毎年4名程度を表彰する予定です。（副賞20万円／1名）

### 〔事例研究賞〕

ORの優れた事例研究に対して贈られます。毎年3件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

### 〔業績賞〕

ORの研究・教育・実施などにかかわる活動に顕著な業績を挙げた個人に対して贈られます。ただし被推薦者は、原則として応募締め切り時に満40歳以上、満60歳以下の学会員である必要があります。毎年1

名程度を表彰する予定です。（副賞10万円／1名）

### 〔普及賞〕

ORの普及への大きな貢献に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

### 〔実施賞〕

ORの強力な実施・推進に対して贈られます。毎年2件程度を表彰する予定です。個人の場合は本学会員、グループの場合は本学会員を含むグループ、企業の場合は賛助会員企業が対象です。

### 〔論文賞〕

2010年度より設けられた新しい賞です。過去1年間に本学会論文誌に掲載された論文のうち、特に優れたもの1編に贈られます。授賞論文の著者すべて（非会員が含まれる場合も全員）を表彰します。なお、論文賞の推薦は募りません。（副賞30万円／1件）

### 〔学生論文賞〕

学生によるORに関する優れた研究に対して贈られるものです。対象は、来春提出される学部の卒業論文、または大学院の修士論文とします。毎年5編程度を表彰する予定です。学生・指導教員がともに本学会員であることが必要です。詳しい募集要項は、OR誌2月号に掲載します。

（表彰委員会）

## ● 2017年春季研究発表会 （創立60周年記念大会）

日 程：2017年3月15日（水）午後～17日（金）

\*今回はシンポジウムを併催いたしません。

場 所：沖縄県市町村自治会館（沖縄県那覇市旭町116-37）

研究発表会HP：<http://orsj.or.jp/~nc2017s/>

テーマ：「ORの新展開—さらなる変革と融合と発展を目指して—」

“New perspectives of Operations Research: Towards innovative fusion”

### 特別講演：

- ・外山俊明氏（全日本空輸（株）執行役員貨物事業室長／（株）ANA Cargo代表取締役社長）
- ・松原仁氏（公立はこだて未来大学教授）
- ・未定（第6回近藤賞受賞者予定）

実行委員長：山下英明（首都大学東京）

● 2016年度関西支部シンポジウム

日時：2016年11月5日(土) 12:30~17:00 (12:00  
開場)

場所：常翔学園大阪センター301教室  
(大阪市北区梅田3-4-5毎日インテシオ3F)  
<http://www.josho.ac.jp/facility/osakacenter.html>

主催：OR学会関西支部

テーマ：「地方創生をORする～エビデンスを生かした戦略展開」

オーガナイザー：畑 正夫 (兵庫県立大学 教授)

定員：150名 (事前申込不要, 参加費無料)

趣旨：

地方創生の取組みは、顕著になる人口減少傾向の中で、国・地方を通して厳しい財政制約のもとに、エビデンスを有効に活用した政策立案と、それらの戦略的な展開が求められている。取組を戦略的に進めるために、地方自治体が策定する地方創生総合戦略は2015年度末までに全国ではほぼ出揃った。現在、設定した目標の達成度合いの評価を行いながら総合戦略の一層の具体化と実施という重要な段階を迎えている。

本シンポジウムでは戦略的を持続可能にするための、①政策形成に不可欠な情報の捉え方、②戦略的な取組の前提となる地域の将来像(ビジョン)のための合意形成の分析手法、③地方創生を含め日本再生の重要課題とされる観光・ツーリズム経済の見える化、④戦略で設定した重要業績指標(Key Performance Indicator)による評価だけでなく多様な主体の参画・協働による地域創生の評価のあり方等について、研究者からの講演をもとに討議を行う。

行政や地域づくりの実務者にはORへの関心を高めていただき、OR研究者には実務者が必要としている安価で簡易なデータ収集手法や迅速な解析手法の実際を知っていただくきっかけを作る。公共領域において、データを活用しエビデンスを持った意思決定と行動を可能に資することに重きを置き、行政関係者にも参加を呼びかけ会員との交流機会を創出する。

プログラム：確定次第、改めてご案内いたします。

皆様のご参加を心よりお待ちしております。  
詳細は下記のURLをご参照ください。

<http://www.orsj.or.jp/kansai/seminar.html#20161105>

問合せ先：OR学会関西支部幹事：甲南大学 小出 武  
TEL & FAX: 078-435-2532  
E-mail: [or-west-office@orsj.or.jp](mailto:or-west-office@orsj.or.jp)

● 2017年度研究部会新設および継続の申請について

研究普及委員会では、その活動の大きな柱の1つとして、研究部会・グループの設立・運営のお手伝いをしております。研究部会の設置期間は、原則として2年以内ですが、理事会の承認が得られればさらに1年延長することも可能です。部会が発足しますと財政的な補助もいたします。研究テーマは、基礎理論から実践研究までご自由にお考えいただいて結構です。

今年度活動中の研究部会・グループは以下のとおりです。詳しくは学会WEBをご覧ください。

<http://www.orsj.or.jp/activity/sig.html>

<b>特設研究部会</b>	
<b>オリンピック、パラリンピックとOR</b>	
1	危機管理
2	エネルギー
3	スケジューリング, ロジスティクス
4	施設・交通
5	人の動きの数理モデル, ビッグデータ
<b>常設研究部会</b>	
1	待ち行列
2	数理計画 (RAMP)
3	評価のOR
4	意思決定法
5	サプライチェーン戦略
<b>研究部会</b>	
1	安全・安心・強靱な社会とOR
2	確率モデルとその応用
3	信頼性
4	ビッグデータとマーケティング分析
5	リーンマネジメントシステム
6	アグリサプライチェーンマネジメント
7	最適化の基盤とフロンティア
8	数理的発想とその実践
9	不確実性環境下の意思決定モデリング
10	分散アルゴリズムの応用と理論
11	ORによる大規模インフラストラクチャー分析
<b>研究グループ</b>	
1	地域課題解決のOR

申請の締切は新設・継続ともに12月9日(金)です。申請用紙は事務局までご請求ください。

## ● 研究部会・グループ開催案内

### 〔待ち行列〕

・第264回

日 時：2016年11月19日（土）14:00～17:00

場 所：東京工業大学大岡山キャンパス西8号館（W）  
809号室

#### テーマと講師：

(1) 「インタラクション分析に基づく通信ネットワークの設計」

新井田 統, 小頭秀行（KDDI研究所）

(2) 「Nonlinear Markov Processを使った個体と環境の相互作用モデル」

豊泉 洋（早稲田大学）

問合せ先：佐久間 大（防衛大学校）

E-mail: sakuma@nda.ac.jp

部会 URL：http://www.orsj.or.jp/queue/

### ・第33回（2016年度）待ち行列シンポジウム

日 時：2017年1月19日（木）～21日（土）

場 所：東京理科大学森戸記念館第1フォーラム

問合せ先：佐久間 大（防衛大学校）

E-mail: sakuma@nda.ac.jp

シンポジウム URL：https://sites.google.com/site/qsymp  
2016/

部会 URL：http://www.orsj.or.jp/queue/

### 〔意思決定法〕

・第39回

日 時：2016年11月22日（火）16:00～18:00

場 所：大阪商業大学谷岡学園梅田サテライトオフィス CURIO-CITY（大阪市北区大深町4-20 グランフロント大阪タワー A（南館）16階）

#### テーマと講師：

(1) 「医療機器選定における階層化意思決定法の活用事例—取り組みの現状と課題—」

福田将誉（箕面市立病院）

(2) 「情報セキュリティ評価の手法と問題」

法雲俊栄（大阪商業大学）

問合せ先：西澤一友（日本大学）

Tel: 047-474-2664

E-mail: nishizawa.kazutomo@nihon-u.ac.jp

部会 URL：https://sites.google.com/site/decisionorsj/

### 〔評価のOR〕

・第71回

日 時：2016年11月5日（土）13:30～16:30

場 所：大阪大学大学院情報科学研究科C607セミナー室

http://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/access/suita-campus.html

#### テーマと講師：

(1) 「配分効率性を考慮した全要素生産性の評価指標及びその日本の証券会社への応用について」

趙 宇, 丸山幸宏（長崎大学）

(2) 「アンケートデータによる業績評価について」

森田 浩, 戴 睿（大阪大学）

・第72回

日 時：2016年11月26日（土）13:30～16:00

場 所：静岡大学工学部5号館3F第1会議室

http://www.shizuoka.ac.jp/campuslife/campus/hamamatsu/index.html

http://www.shizuoka.ac.jp/access/map\_hamamatsu.html

#### テーマと講師：

(1) 「ベイジアンネットワークを用いた患者意識の分析（仮）」

田中千尋, 澤木みゆ, 水野信也（静岡理工科大学）,  
浦松雅史（東京医科大学）, 藤澤由和（宮城大学）

(2) 「最短距離DEAをめぐる」

関谷和之（静岡大学）

問合せ先：廣津信義（順天堂大学）

TEL: 0476-98-1001 (ex.352)

E-mail: nhirotsu@juntendo.ac.jp

\*参加費無料・事前申込は不要です。初めての方も気軽に参加ください。

## ● 新宿OR研究会

### 〔第363回〕

日 時：2016年11月15日（火）12:00～14:00

講 師：山元順雄氏（公益財団法人日本グローバル・インフラストラクチャー研究財団理事長）

テーマ：「丸い地球とOR」

場 所：OR学会事務局会議室（東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F）

http://www.orsj.or.jp/members/inquiry2.html

参加費：2,000円（昼食代を含みます。事前にメールにてお申込みください。）

問合せ先：日本OR学会事務局

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

## ● 公募案内

(詳細は、各大学のWEBおよび、OR学会WEBの「教員公募案内」をご覧ください。)

・千葉工業大学社会システム科学部経営情報科学科

募集人員：教授，准教授，または助教1名

所 属：社会システム科学部経営情報科学科

専門分野：社会システム工学分野

担当科目：社会システム科学分野の教育研究を行う。また当学部の上には、社会システム科学研究科マネジメント工学専攻の博士前期課程，博士後期課程があり，大学院での講義も担当することが求められている。学部の主な担当科目「経営管理論」，「コストマネジメント」，「原価管理および演習」等

応募資格：(1) 社会システム科学部での教育研究に熱意のある方，(2) 日本語で講義が可能な方，(3) 博士の学位を有する方，(4) 大学院での指導資格を有する，もしくは指導可能な方

着任時期：2017年4月1日

提出書類：A4用紙，書式自由。(1) 履歴書(高校卒以降の学歴，学位・称号，職歴，工業所有権，教育業績，社会活動業績(学会等)，賞罰，住所，電話，電子メールアドレス等を記載)，(2) 研究業績リスト(年号西暦，最新のものから年月順に記載のこと)(a) 著書(共著であれば執筆担当の章，ページ等を記載)(b) 研究論文および国際会議 proceedings(査読の有無を明記)(c) 一般講演論文(d) その他工業所有権等，(3) これまでの研究活動とその内容の要約(2,000字程度)，(4) 教育に対する抱負(1,000字程度)，(3) 推薦書(所属学会会員からの推薦書が1通あることが望ましい，複数可)

応募締切：2016年11月25日(金)(当日消印有効)

選考方法：書類による1次選考を行い，選ばれた候補の中から面接(2次選考)のうえ，決定。面接は12月中旬を予定。

採否の決定：2016年12月末予定

採用条件と給与：採用後3年間は年度ごとの雇用契約更新制とし，その間の教育・研究業績，素行等に問題があると判断された場合は，途中で雇用を打ち切ることがあります。最終雇用契約期間満了時点で特に問題無と判断された場合には，65歳定年制の専任教員に身分変更されます。なお，雇用契約期間中は，雇用契約期間が定められていること以外，処遇等は65歳定年制の専任教員と同一です。

書類送付先および連絡先：〒275-0016 千葉県習志野市津田沼2-17-1

千葉工業大学 社会システム科学部 経営情報科学科学科長 岩下 基

E-mail: iwashita.motoi@it-chiba.ac.jp

備考：書類提出は書留郵便または宅配便など，授受の確認ができる方法にて，封筒に「社会システム科学部教員応募書類在中」と朱書きして郵送のこと。ご質問や問合せは，原則としてEメール。件名は「社会システム科学部教員応募」と記載のこと。

## 訂正

この度，第61巻第10号において，一部冊子に印刷上の誤植がございました。

当該記事に関連する方々，読者の皆様に多大なご迷惑をおかけし誠に申し訳ございません。深くお詫び申し上げますとともに，下記のとおり訂正させていただきます。

該当ページ：pp. 690-691

「待ち行列理論を用いた駐車場共同利用の評価」

p. 690右段5行目：誤「図??」

→正「図1」

p. 690右段下から6行目：誤「図??」

→正「図2」

p. 691左段9行目：誤「詳しくは [?]」

→正「詳しくは [1]」

p. 691左段最終行：誤「図??，図??」

→正「図3，図4」

\*\*\*\*\*

## 2016年度第3回 ORセミナー 『Python言語によるビジネスアナリティクス』

\*\*\*\*\*

**開催趣旨:** 高級スクリプト言語“Python”を用いて、実務家のための最適化・統計分析・機械学習などのオペレーションズ・リサーチの分野で必要なツールをご紹介します。このセミナーは、これからPythonを始める方や、これまで別のソフトウェアで最適化やデータ分析をしていた方にとって、Pythonの世界に踏み出すための最適なイントロダクションとなるでしょう。Pythonのユーザーフレンドリーさと自由度の高さを体験しましょう。

PCを持参することで、実行しながら確認できます。予め、Anacondaをインストールしておいてください。インストーラーのダウンロード：<https://www.continuum.io/downloads>

**日 時:** 2016年11月12日 (土) 10:00~17:00

**会 場:** (株)構造計画研究所本所新館 (地下1階レクチャールーム)  
〒164-0011 東京都中野区中央4-5-3 TEL: 03-5342-1065  
東京メトロ丸の内線「新中野」駅1番出口 徒歩約1分  
<http://www.kke.co.jp/corporate/map/tokyo2.html>

**コーディネーター:** (株)構造計画研究所 (以下KKE) 齊藤 努 (OR学会研究普及委員)

**司 会:** 東京海洋大学 久保幹雄

**定 員:** 60名 (定員になり次第締め切らせていただきます。)

**プログラム:** (敬称略)

- 10:00~10:10 セッション0「環境整備 DockerとAnaconda」講師: KKE 齊藤 努
- 10:10~10:30 セッション1「対話型シェル IPythonとJupyter」講師: 東邦大学 並木 誠  
インタラクティブに実行でき、記録・共有・再現に効果を発揮するIPythonの紹介。
- 10:30~11:20 セッション2「データ解析」講師: KKE 齊藤 努  
pandasによるデータ分析や可視化を紹介。
- 11:30~12:00 セッション3「統計～線形回帰, ロジスティック回帰, ポアソン回帰」講師: KKE 齊藤 努  
3つの仮想事例で、線形回帰, ロジスティック回帰, ポアソン回帰を紹介。
- 13:00~13:40 セッション4「機械学習」講師: 東邦大学 並木 誠  
機械学習の代表的なPythonモジュール: scikit-learnの主な分析手法を紹介。
- 13:50~14:30 セッション5「最適化～概要」講師: 東京海洋大学 久保幹雄  
最適化問題を分類し、幾つかの代表的な最適化問題に整理するとともに、各最適化問題を解くためのソルバーとモデラーを紹介。
- 14:40~15:10 セッション6「最適化～実践」講師: 東京海洋大学 久保幹雄  
数値最適化ソルバー Gurobi, PuLP, 非線形最適化ソルバー OpenOptを統一的使用するためのモジュール, ならびに制約最適化とスケジューリング最適化のためのモジュール (SCOP, OptSeq)を紹介。
- 15:40~16:30 セッション7「ネットワークと動的最適化」講師: 東京理科大学 小林和博  
グラフ・ネットワーク関連解析のためのモジュールであるNetworkXと動的計画の設計法を紹介。
- 16:30~16:50 セッション8「Excel連携」講師: 東京海洋大学 橋本英樹  
ExcelとPythonの連携を行うためのモジュールxlwingsを紹介。
- 16:50~17:00 閉会挨拶 東京海洋大学 久保幹雄

**参加費 (テキスト代込み):** 正・賛助会員 (協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員 1,000円, 学生非会員 1,500円, 非会員 20,000円

**ORセミナー参加者特典:** 正会員でない賛助会員/非会員/学生非会員がご入会される場合, 入会金は無料となり, かつ, 2016年度と2017年度の年会費は免除されます。参加申込みメールに「ORセミナー参加者特典」利用による入会希望とお書き添えください。

**申込方法:** メールタイトル「第3回ORセミナー参加申込」として, お名前, ご所属先, 正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員, お支払い予定日を記入してください。ご所属先宛の請求書が必要な場合, その旨お書きください。メール送信先: 日本OR学会事務局 E-mail: [jimukyoku@orsj.or.jp](mailto:jimukyoku@orsj.or.jp)

**申込みおよびお振込み締切:** 2016年11月4日 (金)

**振込先:** みずほ銀行根津支店 (店番号235) 普通1530801

**口座名:** 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

**協賛学会 (正会員と参加費同額):** 日本経営工学会 (JIMA), 日本品質管理学会 (JSQC), 日本信頼性学会 (REAJ), 研究・イノベーション学会 (JSRPIM), 日本設備管理学会 (SOPE-J), 経営情報学会 (JASMIN), プロジェクトマネジメント学会 (SPM)

\*\*\*\*\*

## 2016年度 第4回 ORセミナー

## 『統計分析の基本ーデータを用いて意思決定する方法を学ぼう』

\*\*\*\*\*

**開催趣旨:** ビッグデータの流行とともに、分析用のソフトウェアやクラウドサービスなどが普及しています。統計の知識がなくてもこれらを使えば、何らかの結果を得ることはできますが、内部ではどのような分析が行われているのでしょうか？ 正しい結果を得るためには、基本的な分析の知識が必要です。今回のORセミナーでは実際の例を交え、さまざまな統計分析の手法を基本から紹介します。

**日 時:** 2016年12月10日(土) 10:00~17:10  
**会 場:** 大阪大学 大学院情報科学研究科 講義室  
 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘1-5  
<http://www.ist.osaka-u.ac.jp/japanese/access/suita-campus.html>

**主 催:** OR学会関西支部とOR学会本部  
**コーディネーター:** OR学会関西支部副支部長 大阪大学 森田浩  
**定 員:** 60名(定員になり次第締め切らせていただきます。)

**プログラム:** (敬称略)

10:00~10:05 開会挨拶

**第1部「因果分析と要因探索のための多変量解析法」** 講師:立教大学 山口和範

10:05~10:55, 11:05~11:55, 13:00~13:50

統計的問題解決とは、ターゲットとなる目的指標を明確化し、統計モデルを使って、その変動を予測し制御することである。そこでは、目的指標の変動を説明する要因の探索と因果分析をより現象に即して適切に行うことが必要になる。本セミナーでは、そのための多変量解析の基本的な手法として、重回帰分析・主成分分析・主成分回帰の手法を身近な例題で解説する。

**第2部「解析例でみる統計的モデリングのプロセス」** 講師:東京工業大学 野村俊一

14:10~15:00, 15:10~16:00, 16:10~17:00

統計的モデリングとは、ランダムさを持つ現象に対して、観測されるデータに基づいて、データが生み出される確率的構造を推測することである。本セミナーでは、主に保険のデータ解析を題材として、データの要約・視覚化からモデルの定式化、モデルパラメータの推定および検定、モデル選択に至る一連のプロセスを解析例に沿って解説する。

17:00~17:10 閉会挨拶・アンケート記入

**備 考:** このセミナーは、2015年度第1回ORセミナーおよび2016年度第1回ORセミナーと重複する内容があります。

**参加費(テキスト代込み):** 正・賛助会員(協賛学会員を含む) 5,000円, 学生会員1,000円, 学生非会員1,500円, 非会員20,000円

**ORセミナー参加者特典:** 正会員でない賛助会員/非会員/学生非会員がご入会される場合、入会金は無料となり、かつ、2016年度と2017年度の年会費は免除されます。参加申込みメールに「ORセミナー参加者特典」利用による入会希望とお書き添えください。

**申込方法:** メールタイトル「第4回ORセミナー参加申込」として、お名前、ご所属先、正会員/賛助会員/協賛学会員/学生会員/学生非会員/非会員、お支払い予定日を記入してください。ご所属先宛の請求書が必要な場合、その旨お書きください。メール送信先: 日本OR学会事務局 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

**申込みおよびお振込み締切:** 2016年11月30日(水)

**振込先:** みずほ銀行根津支店(店番号235) 普通1530801

**口座名:** 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

**協賛学会(正会員と参加費同額):** 日本経営工学会(JIMA), 日本品質管理学会(JSQC), 日本信頼性学会(REAJ), 研究・イノベーション学会(JSRPIM), 日本設備管理学会(SOPE-J), 経営情報学会(JASMIN), プロジェクトマネジメント学会(SPM)

**2017年度年会費納入のお願い**

2017年度（2017年3月1日～2018年2月28日）年会費の請求書を11月に発送いたします。納入期限は2016年12月末日となっていますので、お早目にご入金ください。

大学または、会社宛の請求書が必要な場合は、以下をメールにて事務局にお知らせください（会員氏名、請求金額、請求書宛名（個人名／法人名／法人名＋個人名）請求書の日付指定の有無、様式の指定…請求書／見積書／納品書、指定用紙など）。

OR学会の事業年度は3月～翌年2月までです。

**年会費専用振込み口座**

みずほ銀行	根津支店（店番号235）普通1124744 口座名：公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会 カナ：シヤ）オペレーションズ リサーチガクカイ
郵便振替口座	00190-6-79492 口座名：公社）日本オペレーションズ リサーチ学会
ゆうちょ銀行	〇一九（ゼロイチキユウ）（店番号019） 当座 0079492 口座名：公社）日本オペレーションズ リサーチ学会

年会費（不課税） 正会員 14,400円  
学生会員 5,000円  
シニア会員 7,200円  
\*手数料は払込人様ご負担でお願いします。  
\*お名前はフルネームでお書きください。

**シニア会員について**

正会員のうち、20年以上正会員を継続し、会費を完納している60歳以上であり、定常収入を有しない方は、理事会の承認によりシニア会員になることができます。申請／承認後、翌年度よりシニア会員となります。シニア会員の会費は7,200円です。

**特別会員について**

正会員のうち、身体障害者手帳をお持ちの方は、その手帳の写しを事務局に提示していただくことにより、特別会員として年会費半額の免除制度があります。申請／承認後、翌年度より特別会員となります。特別会員の会費は7,200円です。

**年会費の口座振替（正会員）**

年会費自動振替の方は2017年1月20日に「2017年度年会費」を引き落としの予定です。口座振替の中止や振替口座変更をご希望の場合は、11月末日までに事務局にメールでお知らせください。

**2016年3月で卒業の学生会員の方へ**

**1) ご就職により正会員として会員継続希望の方へ**  
新所属先（郵便番号、住所、所属機関、所属部署、電話番号、メールアドレス）、新自宅住所（変更があった場合）、連絡先メールアドレス（所属先／自宅）および、OR誌送付先（所属先／自宅）を事務局にお知らせください。

2016年度の会費はそのままです。2016年11月に2017年度正会員年会費14,400円の請求書を発送いたします。

**2) 退会希望の方へ**  
退会理由（卒業、大学院修了等）を書いて、退会届のメールを事務局に送ってください。

**学生会員年会費無料化キャンペーン**

OR学会では学会活性化の一環として、2013年度から開始した「学生会員年会費無料化キャンペーン」を継続中です。

1) 学生新入会希望で、かつ指導教員が正会員の方は、学生会員年会費5,000円は無料となり、入会金600円でご入会できます。

- ①WEBからの入会申込み
- ②入会金600円のお振込み
- ③指導教員様からの応募メール（「指導教員様のお名前、ご所属、学生の方のお名前、ご所属、メールアドレス」）

以上3点をもって、無料化受付が完了します。

2) 学生新入会希望で、指導教員様が非会員の場合は、「学生会員年会費無料化キャンペーン対象外」となり、通常の年会費5,000円が必要となりますので、ご注意ください。

**OR学会事務局**

E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5  
サン・チカビル7F

TEL: 03-3851-6100, FAX: 03-3851-6055

\*各種お届けは、メールにてご連絡ください。

（住所／所属先／メールアドレス／OR誌送付先等の変更、退会届）

会員氏名と新旧の変更内容をお書きください。